

豊かな心を育む市民文化の振興

目指す姿

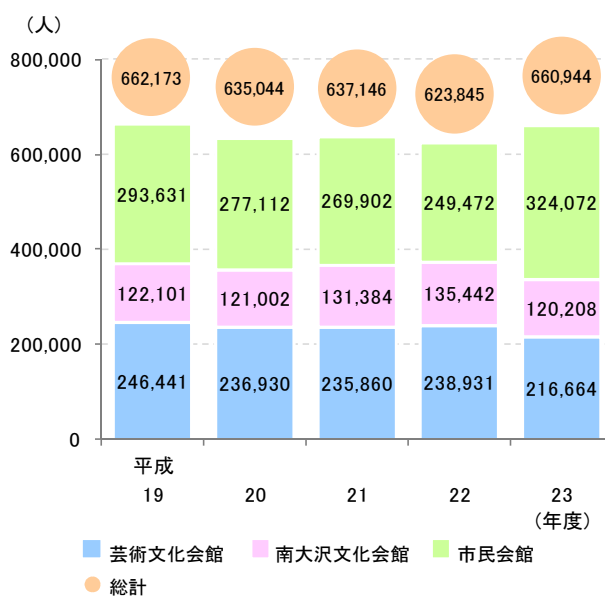
市民が文化に親しみ、また主体的な文化活動が行われることにより、文化活動の輪が広がり、豊かな心が育まれています。

現状・課題

- 閉塞感のある社会の中で、人々の生活に心の豊かさや潤いをもたらすものとして、文化への関心が高まっています。
- 市は、芸術・伝統芸能など市民の暮らしの中にある全ての文化活動を市民文化と位置付け、市民が主体となった文化振興に努めています。
- 市民の手づくりによる市民文化祭などが市民に定着し、「市民を主体とした文化のかおるまちづくり」がすすめられています。
- JR 八王子駅南口駅前に平成 23 年度市民会館が開館し、利用者数が年間 32 万人を超え、本市の文化振興の発信拠点となっています。
- 本市では平成 28 年 10 月に市制 100 周年を迎えます。市制 100 周年記念事業においては、市民との協働による事業の実施が求められています。

データ

■ 芸術文化会館・南大沢文化会館・市民会館の利用者数



関連する個別計画・条例

文化振興計画、市民会館条例 など



施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

1 市民文化活動の支援

- 市民による文化活動を通じて世代間や地域との交流が生まれるなど、地域の活性化につながる活動を支援します。

2 芸術文化の醸成

- 市民が文化に関心を持ち文化を身近なものに感じられるよう、優れた芸術文化にふれる機会を増やします。
- 文化施設を利用して、芸術文化への市民ニーズに沿ったイベントを開催します。

3 八王子の魅力を高める文化の振興

- 八王子の魅力を高める市民文化を支援し、八王子らしい文化の振興に努めます。
- 市制 100 周年記念事業として、様々な文化団体や市民が主体となった祭典の開催を目指します。



行政の役割

- ◇ 文化活動を通じた世代間や地域間の交流の推進
- ◇ 芸術文化にふれる機会の拡充
- ◇ 八王子の魅力を高める市民文化の推進



市民への期待

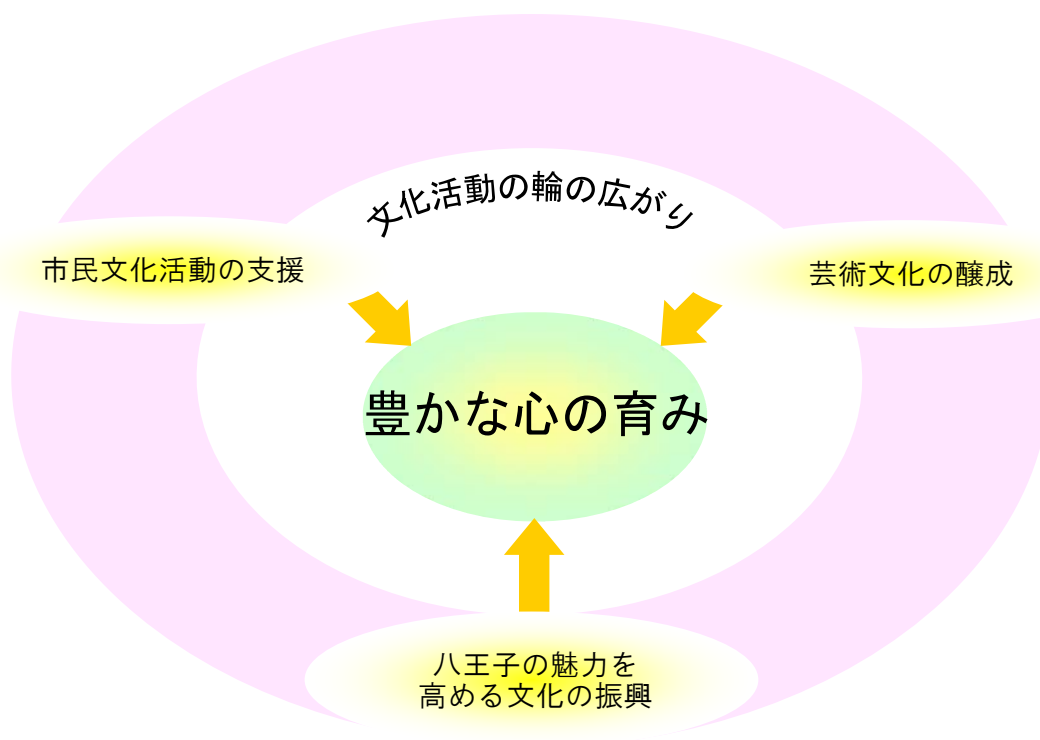
- ◇ コンサート・展覧会の鑑賞など文化に親しむ
- ◇ サークル活動に参加する
- ◇ サークル活動の発表の機会を持つ

目標設定

施策に対する指標	現状値	目標値	
		平成 29 年度	平成 34 年度
定期的に文化活動に参加している市民の割合	39.1% (平成 23 年度)	50%	60%

文化活動の広がりや度合いをはかる指標です。10 年後には 5 人に 3 人の方が定期的に文化活動に参加していることを目標とします。

■ 市民文化の振興



市民が誇れる歴史と伝統文化の継承

目指す姿

文化・歴史・伝統の学びを通じて、誰もが八王子に誇りと愛着を感じ、八王子の歴史と伝統文化が次世代へ継承されています。

現状・課題

- 新たに八王子に居住した住民や学生は、八王子の歴史や文化・伝統芸能にふれる機会などが少なく、関心が高いとはいえません。
- 八王子車人形をはじめとする本市の伝統芸能や八王子まつりを象徴する山車（だし）などの文化財の保存・継承を通じて、まちへの愛着を醸成することが求められています。
- 市は平成28年度の市制100周年記念事業として、平成19年度から市史編さんに取り組んでいます。
- 10万点以上の文化財や資料が収蔵されている郷土資料館は、施設の老朽化がすすみ、資料の保存・活用のための対応が必要です。
- 歴史の魅力を分かりやすく伝えるため、八王子城跡では案内施設を整備し、ガイドボランティアの案内により来訪者への関心を高めています。

データ

■八王子の伝統芸能

八王子車人形 (東京都指定無形文化財)

「ろくろ車」という箱型の車に腰かけて、人形を操る特殊な一人遣いの人形芝居です。

説経浄瑠璃 (東京都指定無形文化財)

本来、仏教伝道のひとつでしたが、やがて芸能化し、江戸時代に入って人形芝居と提携して興行されるようになりました。

木遣 (八王子市指定無形民俗文化財)

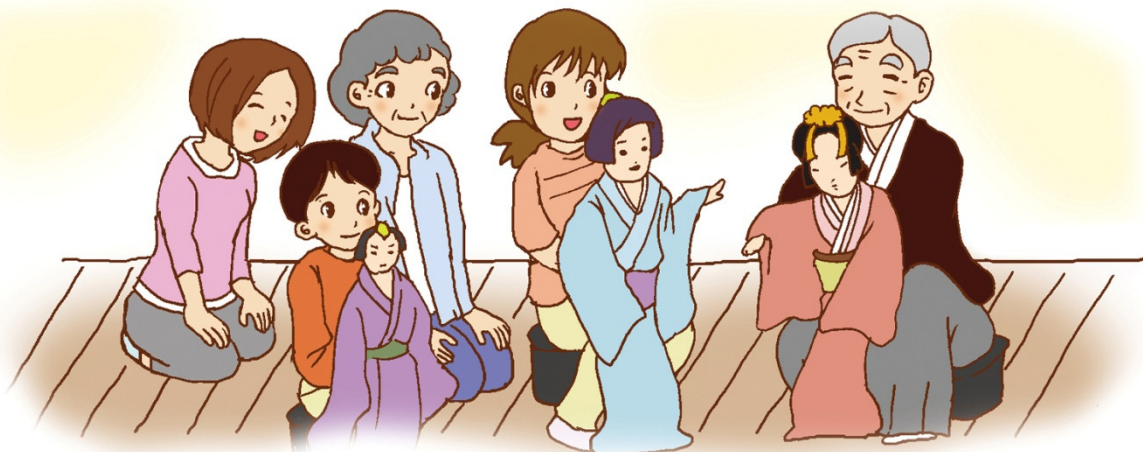
力を合わせて作業をするための掛け声を大勢で唱和し、それが唄となったものです。

獅子舞 (八王子市指定無形民俗文化財)

市内に伝わる獅子舞は、雨乞いや五穀豊穡、悪魔退散などを祈願して地域の氏神様で奉納されているものです。

関連する個別計画・条例

文化振興計画、文化財保護条例 など



施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

1 文化遺産等の保存・活用

- 市制 100 周年に向けて、「新八王子市史」を刊行するなど、今後、貴重な資料を広く市民が活用できるよう市史編さんをすすめます。
- 市民の歴史や文化理解を深めるために、八王子城跡など数多くの史跡・文化財の保存・管理をすすめ活用をはかります。

2 伝統芸能の継承

- 歴史文化の関係団体や町会・自治会、子ども会などの地域団体、学校との連携によって、伝統芸能にふれる機会や伝統行事に参加する機会を増やします。
- 東京都指定の無形文化財である八王子車人形など伝統芸能を支援し次世代への継承をすすめます。
- 伝統芸能の発表機会を通じて啓発活動を行い、市民意識を高めることなどにより伝統芸能を保存し継承していきます。

3 歴史と伝統文化を継承する場の充実

- 次世代に八王子の歴史・文化を継承していくため、八王子の魅力の再発見につながる施設の整備をすすめます。また、調査・研究など機能の充実をはかり、その成果を発信します。



行政の役割

- ◇ 史跡・文化財や貴重な資料の保存・管理と活用
- ◇ 伝統芸能や伝統行事に参加する機会の拡充と次世代への継承



市民への期待

- ◇ 地域のまつりを楽しむ
- ◇ 市内のまつりを楽しむ
- ◇ まつりの由来を知る
- ◇ 市内の名所・旧跡を訪ねる

目標設定

施策に対する指標	現状値	目標値	
		平成 29 年度	平成 34 年度
1 年間のうちに伝統行事に参加したことがある市民の割合	23% (平成 22 年度)	29%	35%
文化財関連施設の利用者数	37,347 人/年 (平成 23 年度)	70,000 人/年	100,000 人/年

伝統行事に対する関心度をはかる指標です。伝統行事に参加している市民の増加を目指します。

歴史・文化に対する関心度と史跡・文化財の保存・活用の充実度をはかる指標です。10 年後には 10 万人が利用していることを目標とします。

■ 八王子の伝統芸能



◇ 八王子車人形と獅子舞

◇ 説経浄瑠璃



◇ 木遣（きやり）



多様な文化交流の推進

目指す姿

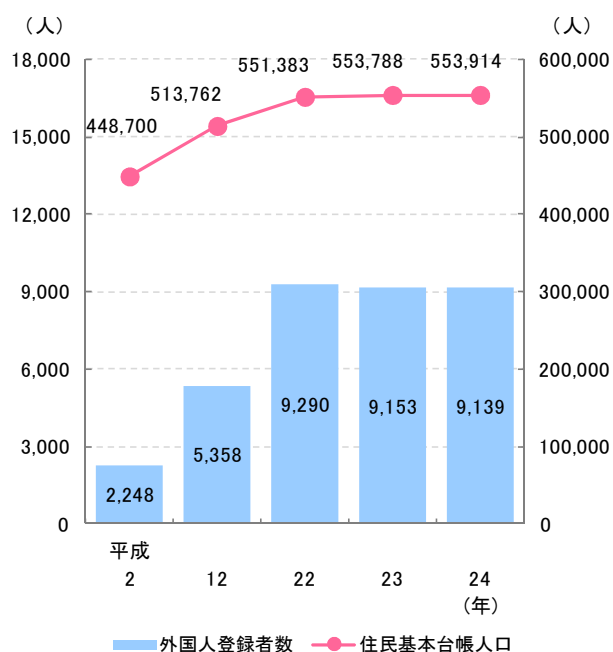
国内・海外友好都市との文化交流により、互いに都市の魅力が広く住民に理解されています。また、市民・企業の間で、多様な文化交流が広がっています。

現状・課題

- 姉妹都市や海外友好交流都市への行政による公式訪問にとどまらず、市民や企業の間で多様な交流が行われています。
- 姉妹都市として長年交流を続けてきた日光市や苫小牧市に続き、八王子千人同心のつながりから北海道白糠町との文化交流が続いています。
- 市は平成 18 年度に市制施行 90 周年を迎えたことを機に、中国の泰安(たいあん)市、台湾の高雄(たかお)市、韓国の始興(しふん)市と友好交流協定を締結し、交流をすすめています。
- 市内には 9,000 人を超える外国人が住んでおり、日常生活においても外国人との交流や、外国の文化を知る機会が増えています。

データ

外国人登録者と人口



各年 3 月末日現在

関連する個別計画・条例

文化振興計画、多文化共生推進プラン など



施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

1 都市間文化交流の推進

- 国内・海外の友好都市との絆を深め、教育・文化・スポーツ・芸術・産業など多方面にわたる交流を推進します。
- 多様な文化交流を促進するために、友好都市以外の自治体と連携した文化交流事業を展開していきます。
- NPO・企業・大学などが行う自主的な都市間文化交流を促進します。

2 国際理解の推進

- 外国人を支援する市民団体や大学などとの連携により、国際理解をすすめ、外国人との文化交流を推進します。



行政の役割

- ◇ 多分野にわたる友好都市や他自治体との交流推進
- ◇ 国際理解の推進と外国人との交流機会の拡充



市民への期待

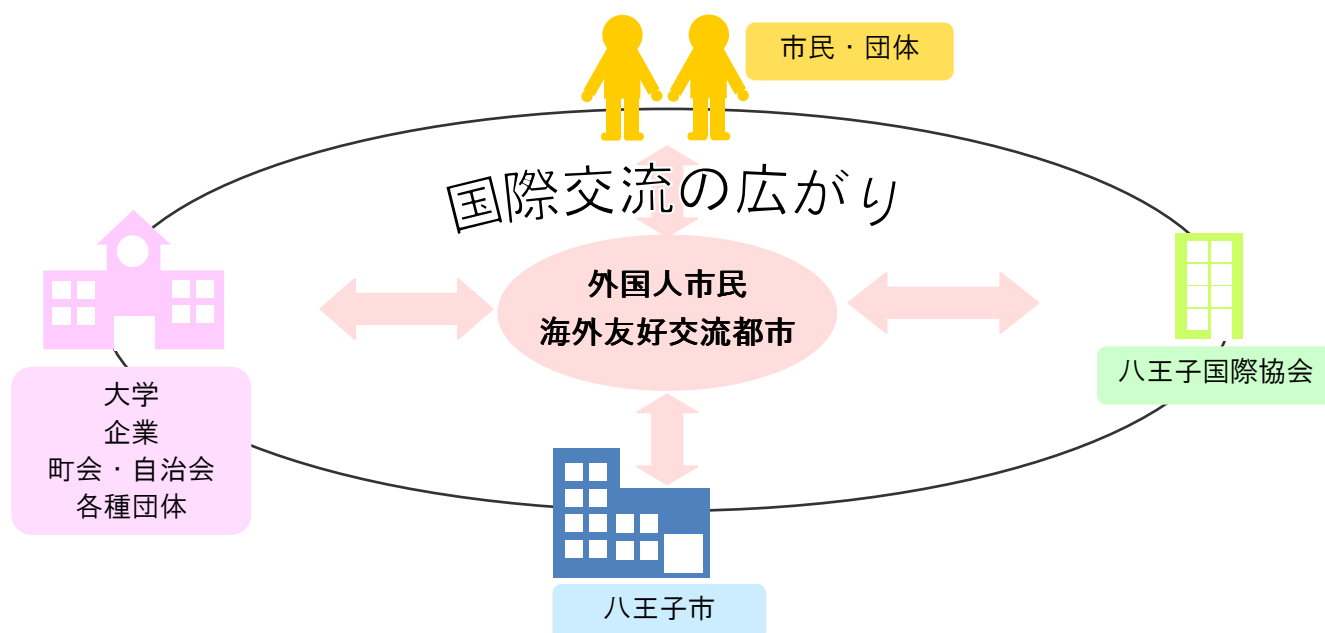
- ◇ 地域の外国人とあいさつをする
- ◇ 姉妹都市の歴史を知る
- ◇ 外国の文化を紹介する交流イベントに参加する

目標設定

施策に対する指標	現状値	目標値	
		平成 29 年度	平成 34 年度
市や八王子国際協会が開催する事業への参加者数	7,496 人/年 (平成 23 年度)	8,700 人/年	9,700 人/年

多様な文化交流の推進の度合いをはかる指標です。今後5年ごとに1,000人ずつ増加させることを目標とします。

国際交流の推進



※八王子国際協会では、外国人市民とともに市民自らが企画し、市民団体、関係機関や行政との協働により、国際交流事業や地域の国際化に関する事業などを行っています。